

事務連絡
平成30年4月1日

厚生労働省健康局結核感染症課
各都道府県感染症対策主管課
各保健所設置市感染症対策主管課
各特別区感染症対策主管課

御中

沖縄県保健医療部地域保健課

麻しん患者の発生について（情報提供）

平素より、本県の感染症対策の推進に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、標記について、平成30年3月23日付け保地第2029号により情報提供を行いました。この度、新たに県内で確認された患者のうち数名が、発熱前日から医療機関を受診するまでに、那覇市内の国内外観光客が多く訪れる地区を行動していたことが分かりました。

つきましては、改めて別添のとおり、注意喚起のため情報提供いたします。

沖縄県保健医療部地域保健課
結核感染症班 担当：仁平、久高
TEL：098-866-2215
FAX：098-866-2241

マスコミ各位

平成30年3月29日（木）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担当：山内、仁平

電話：098-866-2215

麻しん(はしか)患者の発生について(第二報)

1 報道関係者の方へ

平成30年3月23日に、本県では平成26年以来となる麻しん患者が発生したことを報告しましたが、本日、3月29日に、新たに2名の麻しん患者が確認されました。

当該患者は、2名とも初発の患者との接触歴が確認されています。引き続き、初発患者と接触した（同一空間を共有した）方は、麻しんに感染している可能性がありますので、各医療機関および県民への注意喚起をお願いします。

今回確認された2名の患者については、居住地を管轄する保健所が注意喚起及び健康観察対象としておりました。引き続き、2名の患者の接触者についても、注意喚起及び健康観察を行います。

なお、麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされております。現時点までに確認された患者が利用した施設等を利用されても、当該患者を原因とする麻しんウイルスに感染することはありません。

また、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されないことがないように、格段のご配慮をお願いします。

2 患者の情報

1. 石垣市在住、40代、女性。初発患者が利用した宿泊施設を、同日に利用。

【経過】

3/27（火）発熱。八重山保健所及び管内医療機関に事前連絡し、医療機関を受診。

3/28（水）当該医療機関から八重山保健所へ、麻しん疑い患者報告。

八重山保健所から衛生環境研究所へ検査依頼。

3/29（木）検査の結果、麻しん遺伝子陽性。

2. 中部保健所管内在住、30代、男性。初発患者が利用した飲食店の従業員。

【経過】

3/28（水）発熱。中部保健所及び管内医療機関に事前連絡し、医療機関を受診。

当該医療機関から中部保健所へ、麻しん疑い患者報告。

中部保健所から衛生環境研究所へ検査依頼。

3/29（木）検査の結果、麻しん遺伝子陽性。

3 県民の皆様へのお願い

麻疹は、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。

麻疹患者と接触した場合は、接触後 7～21 日間の健康観察が必要となります。そのため、4月18日までに発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻疹かもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

4 麻疹（はしか）について

原因：麻疹ウイルス

潜伏期間：10～12日

主な症状：感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くはないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染（麻疹ウイルスの空気中での生存期間は2時間以下）

感染症法：五類感染症

予防：予防接種が有効

麻疹に感染しないためには、予防接種が重要です。

麻疹の定期予防接種（第1期：1歳、第2期：小学校入学前）がまだの方は、早めに予防接種（MRワクチン）を受けましょう。

特に、4月から小学校に入学されるお子さん（第2期該当）で、予防接種がまだの方は、今月中に受けましょう。

また、定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MRワクチンを受けましょう。

- 母子手帳などで麻疹ワクチンを2回以上受けた記録がある
- 過去に麻疹に罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）

マスコミ各位

平成30年4月1日（日）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担当：山内、仁平、久高

電話：098-866-2215

那覇市保健所保健総務課 結核感染症グループ

担当：仲宗根、安藤

電話：098-853-7971

麻しん(はしか)患者の発生について(第三報)

1 報道関係者の方へ

平成30年3月23日に、本県では平成26年以来となる麻しん患者が発生し、3月29日には2名の麻しん患者が発生したことを報告しましたが、3月31日に、新たに5名の麻しん患者が確認されました。今後、更なる麻しん患者の発生が考えられることから、各医療機関および県民への注意喚起を宜しくお願い致します。

麻しん患者が周囲の人へ感染させる期間の始まりは、症状が出る1日前からとされています。初発患者と新たに確認された患者のうち3名は、周囲へ感染させる可能性がある期間中に、多くの方との接触があったと考えられます。

下記の患者情報を参考に、該当する地区へ行かれた方で、健康観察期間中に発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

なお、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることがないように、格段のご配慮をお願いします。

2 県民の皆様へのお願い

麻しんは、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。本県においては、平成11年から13年の麻しん流行時に、9名のこどもが犠牲になっています。

現在、非常に多くの方が、麻しん患者と接触した可能性があります。流行が拡大すると、抵抗力の弱い乳幼児が犠牲になるので、麻しんの拡大防止について、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

3 患者の情報

患者 No.	年齢	性別	居住地	予防接種歴	発熱日	検査確認日	推定感染源	備考
1	30代	男性	台湾	不明	3/14	3/20	国外	初発例。3/17から沖縄本島内を旅行
2	40代	女性	石垣市	有 (1回)	3/27	3/29	3/17にNo.1と接触	
3	30代	男性	中部管内	無	3/28	3/29	3/18にNo.1と接触	
4	20代	男性	那覇市	不明	3/25	3/31	3/17にNo.1と接触	
5	0歳	男性	那覇市	無	3/25	3/31	不明*	
6	30代	男性	那覇市	不明	3/27	3/31	3/17にNo.1と接触	
7	40代	男性	那覇市	不明	3/29	3/31	不明*	
8	6歳	男性	中部管内	無	3/25	3/31	不明*	

※ No.5、7、8の症例は、初発患者が那覇市内を観光した3月17日に、同じ那覇市内大型商業施設を利用されています。

【患者行動歴及び健康観察期間】

患者 No.	行動歴	健康観察期間
1	3/17(土) 那覇市国際通り及び新都心 3/18(日) 那覇市国際通り、糸満市西崎、北谷町美浜 3/19(月) 今帰仁村古宇利島、名護市内	3/24(土)～4/9(月)
4	3/25(日) 那覇市国際通り 3/26(月) 発熱。那覇市国際通り及び近辺 3/27(火) 那覇市国際通り及び近辺	3/31(土)～4/17(火)
5	3/25(日) 那覇市新都心地区 3/26(月) 発熱。	
6	3/26(月) 那覇市国際通り及び近辺 3/27(火) 発熱。那覇市国際通り	

4 麻疹（はしか）について

原因：麻疹ウイルス

潜伏期間：10～12日

主な症状：感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くはないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染（麻疹ウイルスの空気中での生存期間は2時間以下）

感染症法：五類感染症

予防：予防接種が有効

麻疹に感染しないためには、予防接種が重要です。

麻疹の定期予防接種対象（第1期：1歳、第2期：小学校入学前）の方は、早めに予防接種（MRワクチン）を受けましょう。

定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MRワクチンを受けましょう。

- 母子手帳などで麻疹ワクチンを2回以上受けた記録がある
- 過去に麻疹に罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）

参考【あなたは何年生まれですか？ワクチン接種状況チェック！】

麻疹	ワクチン接種の状況
昭和52年以前生まれの者	定期接種が行われていませんでしたが、自然に麻疹に感染する世代でもあるので、免疫がある人とならない人がいます。
昭和52年～平成2年以前生まれの者	定期接種を受ける対象になっていましたが、1回だけの接種となっています。麻疹の免疫が低い可能性があります。低い場合は、修飾麻疹といって、自身は比較的軽い症状ですみませんが、周囲に感染させてしまう恐れがありますので、2回接種を必要とします。
平成3年以降生まれの者	定期接種2回接種の世代です。母子手帳を確認の上、接種が行われていない場合は、MRワクチンを接種して下さい。